製品名：快速ボディーシャンプー

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

| | | | |
|---|---|---|---|
| 製品の名称 | 快速ボディーシャンプー | | |
| 用　途 | 車両用洗浄剤 | | |
| 供給者の会社名称、住所及び電話番号 | | | |
| 供給者の会社名称 | モリブデンビーピー株式会社 | | |
| 住所 | 〒596-0826 大阪府岸和田市流木町 128-1 | | |
| 担当部署 | 開発技術部 | | |
| 電話番号 | 072-428-2403 | FAX 番号 | 072-428-2450 |
| 緊急連絡先 | 同上 | 改訂 | 2024/04/01 |

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類

| | |
|---|---|
| 皮膚腐食性／刺激性 | ：区分 2 |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | ：区分 2 |
| 発がん性 | ：区分 2 |
| 生殖毒性 | ：区分 2 |
| 水生環境有害性短期（急性） | ：区分 2 |

＊記載のないものは区分外、分類対象外または分類できない。

GHSラベル要素

シンボル



注意喚起語

危険有害性情報

皮膚刺激
強い眼刺激
発がんのおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】
使用前に SDS/取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入をしないこと。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を取り扱う時に、飲食または喫煙をしないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。
指定された個人用保護具を使用すること。

【応急措置】
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は医師の診断／手当を受けること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断／手当を受けること。

【保管】
施錠して保管すること。

【廃棄】
内容物や容器を廃棄する場合、法律･各自治体の条例に基づき、許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託する。

## 3. 組成、成分情報

単一製品、混合物の区分　　混合物
化学名又は一般名
成分及び含有量

| 成分名 | CAS No. | 含有量 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 直鎖ｱﾙｷﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝｽﾙﾎﾝ酸ﾅﾄﾘｳﾑ | 25155-30-0 | 9.0% | 化審法（3）-1949 |
| ﾔｼ油脂肪酸ｼﾞｴﾀﾉｰﾙｱﾐﾄﾞ | － | 非公開 | |
| 非イオン系界面活性剤 | － | 非公開 | |
| ジエタノールアミン（ヤシ油ジエタノールアミドに含有） | 111-42-2 | 0.15% | 化審法（2）-354 |
| 水 | 7732-18-5 | | |
| 労働安全衛生法 通知すべき有害物質 | ジエタノールアミン（ヤシ油ジエタノールアミドに含有） | | |
| PRTR 法 | 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム ， ヤシ油ジエタノールアミド | | |

## 4. 応急措置

大量に吸入した場合　　新鮮な空気の場所に移動させ、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸して嘔吐がある場合には頭を横向きにする。
呼吸が弱い場合は人工呼吸や酸素吸入を行う。
上記症状が出た場合は直ちに医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合　　毒性・刺激性はほとんどないが、液が付着した場合には下記のような処置を行う。
直ちに水で洗い流し、石鹸で液が付着したところを良く洗うこと。
衣服等に付着した場合には、脱いで皮膚に付着した部分を石鹸で良く洗うこと。

目に入った場合　　清浄な水で十分に目を洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。コンタクトレンズ着用の場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。
洗浄後、眼科医の診断を受ける。

飲み込んだ場合　　直ちに口をすすぎ、無理に吐き出させないで、本品持参の上、医師の診断を受けてください。

最も重要な徴候及び症状に関する簡潔な情報　　特に無し

## 5. 火災時の措置

消火剤　　この製品自体は燃焼しない

使用不可消火剤

特定の消化方法　　消化作業は可能な限り風上から行なう。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。
周囲の設備などの輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。
消化のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な措置を行う。

消火を行なう者の保護　　消火の際には、風上から行い必ず保護具を着用する。
必要に応じて、呼吸用保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項　屋内の場合、処置が終わるまで十分に換気を行う。
除去作業の際には必ず適切な保護具を着用する。大量の場合、漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
風上から作業し、風下の人を退避させる。
こぼれた場所は滑りやすいため注意する。

環境に対する注意事項　流出して製品が河川・下水道等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

除去方法　漏出源を遮断し、漏れを止める。少量の場合には土砂、ウエス等で吸着させて空容器に回収し、その後を完全にウエス等で拭き取る。
大量の場合には、漏洩した液を土砂などでその流れを止め、安全な場所に導いた後、出来るだけ空容器に回収し、河川・下水道等に排出されないように注意する。薬剤を用いる場合には国土交通省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。

二次災害の防止法　速やかに関係機関に通報する。周囲の着火源を取り除き、着火した場合に備え、消火機材を用意する。こぼれた場所は滑りやすい為、注意する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

取扱者の暴露防止　取扱には適切な保護眼鏡、保護手袋を必ず着用し直接の接触を避ける。容器から取り出す時にはポンプ等を使用すること。細官を用いて口で吸い上げるようなこと（サイホン）はしてはならない。また、口の中に入れたり飲んだりしてはならない。

その他の注意　常温で取扱うものとし、その際、水分、きょう雑者の混入に注意する。また、取扱の都度容器を必ず密栓する。
製品記載の使用上の注意をよく読み、用途以外に使用しないこと。

保管

適切な保管条件　直射日光を避け、換気の良い場所に保管する。
容器を密栓すること。
湿気の多いところ、水回りなど容器が腐食しやすい場所におかないこと。

安全な容器包装材料　特になし。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策　ミスト・蒸気が発生する場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置を設ける。取扱い場所の近辺に、洗眼及び身体洗浄の為の設備を設ける。

許容濃度

管理濃度　規定なし

許容濃度　日本産衛学会の許容濃度データなし
（ジエタノールアミン（ヤシ油ジエタノールアミドに含有）
ACGIH(2009) TWA: 1mg/m3
(IFV)（肝臓及び腎臓損傷）
特記事項
（ジエタノールアミン（ヤシ油ジエタノールアミドに含有）
皮膚吸収

保護具

呼吸器の保護具　ミスト・蒸気が発生する場合、必要に応じて防毒マスク（有機ガス

| | |
|---|---|
| | 用）を着用する。密閉された場所では、送気マスクを着用する。 |
| 手の保護具 | 耐薬品性（不浸透性）保護手袋を着用する。 |
| 目の保護具 | ゴーグル型眼鏡もしくは側板付き眼鏡を着用する。 |
| 皮膚、身体の保護具 | 保護衣、保護前掛けを着用する。 |
| 適正な衛生対策 | 作業中は飲食、喫煙をしない。休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗う。また休憩場所には、手袋等の汚染された保護具を持ち込んではならない。 |

## 9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---|---|
| 物理的状態 | |
| 形状 | 液体 |
| 色 | 緑色透明液体 |
| 臭い | 原料臭 |
| pH | 7.0 (25℃) |
| 物理的状態が変化する温度 | |
| 沸点 | データ無し |
| 融点 | データ無し |
| 引火点 | 認めず |
| 爆発特性 | |
| 爆発限界 | 下限：データ無し　上限：データ無し（推定値） |
| 密度 | 1.02g/c $m^3$（20℃） |
| 溶解性 | データ無し |

## 10.安定性及び反応性

| | |
|---|---|
| 安定性 | 常温・常圧で安定 |
| 反応性 | 特になし |
| 避けるべき条件 | 特になし |
| 危険有害な分解生成物 | 特になし |

## 11.有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性（経口）

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム)

rat LD50=438mg/kg（計算値）

(ジエタノールアミン（ヤシ油ジエタノールアミドに含有）

rat LD50=2300mg/kg（SIDS, 2008）

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 2, 皮膚刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム)

ラビット 中等度の刺激性（RTECS, 2006 et al）

(ヤシ油ジエタノールアミド)

ラビット 中等度の刺激性（NTP TR 479, 2001）

(ジエタノールアミン（ヤシ油ジエタノールアミドに含有)
ラビット 中等度の刺激性（SIDS, 2008)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[製品]
区分 2, 強い眼刺激
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム)
ラビット 強い刺激性（RTECS, 2006 et al)
(ジエタノールアミン（ヤシ油ジエタノールアミドに含有）)
ラビット 強い刺激性（SIDS, 2008)
呼吸器感作性又は皮膚感作性
皮膚感作性
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(ジエタノールアミン（ヤシ油ジエタノールアミドに含有）)
cat. 1A; MOE 初期評価, 2021; 産衛学会許容濃度等の勧告, 2017
生殖細胞変異原性
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(ヤシ油ジエタノールアミド)
cat. 2; IARC 101, 2012
発がん性
[製品]
区分 2, 発がんのおそれの疑い
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(ヤシ油ジエタノールアミド)
cat,2; IARC Gr .2B（IARC 101, 2012)
(ジエタノールアミン（ヤシ油ジエタノールアミドに含有）)
cat.2; IARC Gr. 2B（IARC, 2011)
[IARC]
(ヤシ油ジエタノールアミド)
Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない
(ジエタノールアミン（ヤシ油ジエタノールアミドに含有）)
Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない
[ACGIH]
(ジエタノールアミン（ヤシ油ジエタノールアミドに含有）)
A3(2009) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
[日本産衛学会]
(ジエタノールアミン（ヤシ油ジエタノールアミドに含有）)
第 2 群 B：ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質
生殖毒性
[製品]
区分 2, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
[成分データ]
[日本公表根拠データ]

（ジエタノールアミン（ヤシ油ジエタノールアミドに含有））
cat. 2; NTP TER 96001, 1999
催奇形性データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）
［成分データ］
［区分 3(気道刺激性)］
［日本公表根拠データ］
(直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム)
気道刺激性（ICSC, 1997）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）
［成分データ］
［区分 2］
［日本公表根拠データ］
(ヤシ油ジエタノールアミド)
甲状腺、肝臓、腎臓（NTP TR 479, 2001）
誤えん有害性データなし

## 12.環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性
[製品]
区分 2, 水生生物に毒性
[成分データ]
水生環境有害性 短期(急性)
[日本公表根拠データ]
(直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム)
藍藻類（ミクロシスティス）EC50=0.9mg/L/96hr (EHC169, 1996)
(ジエタノールアミン（ヤシ油ジエタノールアミドに含有））
甲殻類（ミジンコ）LC50=2.15mg/L/48hr (Aquire, 2012)
水溶解度
(直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム)
20 g/100 ml (25℃) (ICSC, 1997)
(ジエタノールアミン（ヤシ油ジエタノールアミドに含有））
非常によく溶ける (ICSC, 2002)
残留性・分解性(BOD・COD)
[成分データ]
(直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム)
急速分解性あり(p-n-ドデシルベンゼンスルホン酸ナトリウムの BOD による分解度：73% (既存化点
検) から類推)
(ジエタノールアミン（ヤシ油ジエタノールアミドに含有））
TOC による分解度：96.7% (既存点検)
生体蓄積性
[成分データ]
(直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム)
log Pow=1.96 (PHYSPROP DB, 2005)
(ジエタノールアミン（ヤシ油ジエタノールアミドに含有））
log Pow=-1.43 (PHYSPROP DB, 2005)
土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし
他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

## 13.廃棄上の注意

残余廃棄物　事業者は残余廃棄物を自ら処理するか又は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。

## 14.輸送上の注意

国連分類　該当しない。
国連番号　該当しない。
陸上輸送
容器イエローラベル　該当しない。
道路法　該当しない。
海上輸送　該当しない。
航空輸送　該当しない。
特別の安全対策　容器の破損、漏れがないことをたしかめる。
荷くずれ防止を確実に行う。
該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
直射日光を避ける。
水漏れ厳禁。
横積み厳禁。
夏場の輸送時においては、熱い鉄板、地面等の上に直接置かないこと。
輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取扱う。転倒したり、激突させたりしない。
MARPOL 条約附属書Ⅴ - HME(海洋環境に有害)
水生環境有害性: 短期(急性) 区分 1 該当物質
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム
国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

## 15.適用法令

消防法　非危険物
化学物質管理促進法　第 1 種指定化学物質
・直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその
混合物に限る。)(9.0%)[直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム(9.0%)(管理番号 30)];
・N,N-ビス(2-ヒドロキシエチル)アルカンアミド(アルカンの構造が直鎖であり、かつ、当該アルカ
ンの炭素数が 8,10,12,14,16 又は 18 のもの及びその混合物に限る。)、(Z)-N,N-ビス(2-ヒドロキシ
エチル)オクタデカ-9-エンアミド及び(9Z,12Z)-N,N-ビス(2-ヒドロキシエチル)オクタデカ-9,12-
ジエンアミド並びにこれらの混合物(3.6%)[ヤシ油ジエタノールアミド(3.6%)(管理番号 707)]
労働安全衛生法　特化則に該当しない製品
有機溶剤等に該当しない製品
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称通知危険/有害物
ジエタノールアミン（ヤシ油ジエタノールアミドに含有）(別表第 9 の 219)

化審法
優先評価化学物質
ジエタノールアミン（ヤシ油ジエタノールアミドに含有）(政令番号 91 人健康影響/生態影響);
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム(政令番号 140 人健康影響/生態影響);
ヤシ油ジエタノールアミド(政令番号 173 人健康影響/生態影響)

## 16. その他の情報

引用文献

1. 許容濃度の勧告（2008）日本産業衛生学会
2. Thresholds limit values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices, ACGIH(2008)
3. 中央労働災害防止協会ホームページ
4. 独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）
5. 製品安全データシートの作成指針（改訂 2 版）

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性に関してはいかなる保証をなすものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。本製品安全データシートは、本製品の通常の取扱いを対象とし、安全な取扱いの参考情報として、取扱う事業者に提供されるものです。取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。

# [会社情報]

販売者：西九州スズキ自動車販売(株)
所在地：長崎県諫早市多良見町囲444
TEL:0957-27-2229